

## これからも「皆様から必要とされる会社」で在り続けるために

### 加藤産業の軌跡

当社は創業者である加藤彌三二が、1945年に飲料水卸業として創業し、地域の小売様とメーカー様をつなぎ、共に成長してまいりました。様々な苦難に立ち向かいながら、2代目社長である加藤武雄（現：名誉会長）が、M&Aを積極的に進め、常温・低温・酒類・菓子の各カテゴリーの礎を築き、長きにわたり挑戦を続け、事業を拡大してまいりました。そして、私が3代目社長に就任以降は、グループ経営を推進し、各カテゴリーを安定化させることで連結売上高1兆円を超えることができました。当社グループが次のステージへ挑戦し成長するために、デジタル技術やAIを活用した新たなビジネスモデルの創出や業務の生産性向上・効率化を図る一方で、日本国内の人口減少を見据え海外事業を強化しております。当社は独立した存在感のある全国食品卸売業としての企業規模を確立するとともに、食を扱う企業として「豊かな食生活を提供して、人々の幸せを実現する」ために、常にお客様に喜んでいただける価値を提供していきたいと考えております。そのために、我々にとってのお客様は誰なのか、そのお客様に対する価値とは何なのかを定義し、我々の強みを生かしながら、これからもお客様のご要望にお応えし続けてまいります。

### 常識を超え、挑戦を続ける

世の中の変化は速く、その勢いは増すばかりです。食生活や生活者の購買行動が多様化し、リアルとデジタルの垣根がなくなり、小売業の業種・業態を超えた競争も厳しくなっております。さらに少子高齢化が進み、労働人口の減少や人件費の高騰、原材料費などの上昇もあり、先行きが見通しづらい状況でもあります。卸売業は変化対応業であり、失敗を恐れず変革していくことが求められます。今までと同じやり方を繰り返すだけでは、成長は望めません。過去の常識にとらわれず、これまでにない考え方を取り入れ、新しい常識を創り出すことが不可欠です。加藤産業グループは、変化に柔軟かつ迅速に対応できる集団を目指し、組織風土改革を進めています。多様な能力や価値観を持った人材が、自らの強みを最大限に発揮し、互いを助け合いながら成長する組織を目指しております。そして、常に変化に立ち向かい挑戦と学びを続け、従来の枠組みを超えた革新を生み出し、顧客への提供価値を高めたいと考えています。今後お客様が求めているものを理解し、それにお応えできるよう中長期的な投資を進め、我々の機能を充実させてまいります。次のステップを見据えて、現状に満足せず新たなことに取り組み、従業員と共に変革を実現していく所存でございます。

### 豊かな食生活を守り続ける

我々は事業活動を通じ、収益拡大を進めるとともに、社会課題の解決が会社の成長につながるというCSVの観点を持つことが大切だと考えております。これまでも環境保全活動や社会貢献活動を展開してまいりましたが、さらに活動を広げるため、サステナビリティの基本方針を掲げ、「脱炭素」「フードロス&ウェイスト」「資源循環」「多様な人財の活躍」の4つのマテリアリティ（重要課題）の解決を目指しております。サステナビリティ経営は、当社の経営信条「蓄積の精神」に通じるものです。会社のみならず、自然環境や地域社会へ視野を広げ、長期的な視点で価値を積み重ねる姿勢を示しています。私たちは、明日の食を守り続けるため、当社グループ全体でサステナビリティ活動を展開し、ステークホルダーの皆様と共に、2047年の創立100周年を見据え、社会性を有する企業として永遠の発展を礎きあげてまいります。

### 経営信条

1. 思考に基く行動をおこす
2. 目的意識を持つ
3. 新しい常識をつくれ
4. 企業内に無駄をなくせよ
5. 経営感度を高めよう
6. 蓄積の精神

代表取締役社長執行役員

加藤和弥

